**ブレイルセンスシックス**

**簡単ガイド**

2022年4月

有限会社エクストラ

**お知らせ**

* このユーザマニュアルと製品には印刷上の誤りあるいは技術的な誤りがある可能性があります。また、性能の改善などのために予告なしで変更される可能性があります。
* このユーザマニュアルと製品は著作権法によって保護されています。
* Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他記載の製品名、ソフトウェア名は、一般にその会社の登録商標または、商標です。

目次

[1. はじめに 5](#_Toc82543578)

[1.1. 内容物の確認 5](#_Toc82543579)

[1.2. バッテリーの充電 6](#_Toc82543580)

[1.3. バッテリーの装着と取り外し 6](#_Toc82543581)

[1.4. クイックスタートガイド 6](#_Toc82543582)

[1.5. HDMIケーブルを使った映像出力 6](#_Toc82543583)

[2. シックスの形状と各部の名称 8](#_Toc82543584)

[2.1. トップパネル 9](#_Toc82543585)

[2.2. 右側面 9](#_Toc82543586)

[2.3. 左側面 10](#_Toc82543587)

[2.4. 背面 10](#_Toc82543588)

[2.5. 前面 10](#_Toc82543589)

[2.5.1. キーロックスイッチ 10](#_Toc82543590)

[2.5.2. メディアモードスイッチ 11](#_Toc82543591)

[2.5.3. オーディオボタン 11](#_Toc82543592)

[2.5.4. 電源ボタン 11](#_Toc82543593)

[2.6. 裏側 11](#_Toc82543594)

[3. シックスの基本操作 13](#_Toc82543595)

[3.1. シックスの起動と終了 13](#_Toc82543596)

[3.2. ショートカットキーとホットキー、簡単起動コマンド 13](#_Toc82543597)

[3.2.1. ショートカットキー 14](#_Toc82543598)

[3.2.2. ホットキー 14](#_Toc82543599)

[3.2.3. 簡単起動コマンド 14](#_Toc82543600)

[3.3. シックスの情報出力 14](#_Toc82543601)

[3.4. シックスのキー操作 15](#_Toc82543602)

[3.5. マルチタスク 16](#_Toc82543603)

[4. メインメニュー 17](#_Toc82543604)

[4.1. ファイル管理 17](#_Toc82543605)

[4.2. ワードプロセッサ 18](#_Toc82543606)

[4.3. ノートパッド 18](#_Toc82543607)

[4.4. 電子メール 18](#_Toc82543608)

[4.5. メディア 18](#_Toc82543609)

[4.5.1. メディアプレーヤー 18](#_Toc82543610)

[4.5.2. ラジオ 18](#_Toc82543611)

[4.5.3. ポッドキャスト 19](#_Toc82543612)

[4.6. 読書 19](#_Toc82543613)

[4.6.1. DAISYプレーヤー 19](#_Toc82543614)

[4.6.2. 文書リーダ 19](#_Toc82543615)

[4.6.3. DAISYオンライン 19](#_Toc82543616)

[4.7. オーガナイザ 19](#_Toc82543617)

[4.7.1. アドレス帳 19](#_Toc82543618)

[4.7.2. 予定帳 19](#_Toc82543619)

[4.7.3. データベース管理 20](#_Toc82543620)

[4.8. ウェブツール 20](#_Toc82543621)

[4.8.1. ウェブブラウザ 20](#_Toc82543622)

[4.8.2. Google検索 20](#_Toc82543623)

[4.8.3. ウィキ検索 20](#_Toc82543624)

[4.9. アクセサリ 20](#_Toc82543625)

[4.9.1. エクセルビューア 20](#_Toc82543626)

[4.9.2. センス辞書 20](#_Toc82543627)

[4.9.3. カラーリーダー 21](#_Toc82543628)

[4.10. ユーティリティ 21](#_Toc82543629)

[4.11. 設定 21](#_Toc82543630)

[4.12. ヘルプ 21](#_Toc82543631)

[4.13. プレイストア 21](#_Toc82543632)

[4.14. すべてのアプリケーション 22](#_Toc82543633)

[4.15. ブレイルセンス情報 22](#_Toc82543634)

[5. よく使う機能や設定 23](#_Toc82543635)

[5.1. ファイル管理を使ったデータの管理 23](#_Toc82543636)

[5.2. インターネット接続設定 23](#_Toc82543637)

[5.2.1. 無線LANの設定 24](#_Toc82543638)

[5.3. 電子メールの起動と設定 24](#_Toc82543639)

[5.3.1. 電子メールの実行 24](#_Toc82543640)

[5.3.2. メールアカウント設定 24](#_Toc82543641)

[5.3.3. メールアカウントの詳細設定 26](#_Toc82543642)

[6. コンピュータ点字入力と記号 29](#_Toc82543643)

[6.1. 情報処理点字/1級の入力 29](#_Toc82543644)

[6.2. 無変換（NABCC）の入力 30](#_Toc82543645)

[7. 基本的なコマンド一覧 32](#_Toc82543646)

[7.1. 共通コマンドキー 32](#_Toc82543647)

[7.2. 簡単起動コマンド 33](#_Toc82543648)

[7.3. モバイルスクリーンリーダーのコマンド 36](#_Toc82543649)

[8. リセット 38](#_Toc82543650)

[9. シックスの活用について 39](#_Toc82543651)

# はじめに

ブレイルセンスシックスをご購入いただきありがとうございます。

本書ではブレイルセンスシックスをご利用いただくうえで基本となる操作方法を説明します。内容をご確認いただいたうえでブレイルセンスシックスをご活用ください。

より詳しい機能については付属のCD－ROMに保存されているユーザーズマニュアルのDAISY版、text版、word版をご参照ください。ユーザーズマニュアルの内容はブレイルセンスシックスのヘルプ機能からも確認できます。また、有限会社エクストラのウェブページからデータをダウンロードすることも可能です。

なお、本書では以降ブレイルセンスシックスをシックスと表記します。

## 内容物の確認

シックスをご使用になる前に、付属品をご確認ください。

万が一、付属品に不足がございましたらご購入いただいた販売店または有限会社エクストラまでご連絡ください。

内容物

1. シックス本体

2. バッテリー（本体に装着済）

3. SDカード（試供品）

4. ACアダプタ

5. USB 3.0 C-Cケーブル（試供品）

6. イヤホン（試供品）

7. キャリングケース（ストラップ付）

8.USB-HDMI変換ケーブル（試供品）

書類

1. ユーザーズマニュアルCD（DAISY、word、text）

2. シックス簡単ガイド墨字版

3. シックス簡単ガイド点字版

4. 保証書（墨字のみ）

5. ユーザ登録カード（墨字版・点字版）

6. 問い合わせ先

## バッテリーの充電

シックスはバッテリーをフル充電して本体に装着した状態で出荷しております。バッテリーが装着された状態で充電する場合は付属のACアダプタにUSBケーブルを接続し、本体右側奥面にあるUSB Cポート（本体に外字符なしでpと記載があります）につないでください。差込位置について詳しい説明は「2.2 右側面」をご参照ください。充電中でもシックスの操作は可能です。

また、USBケーブルをコンピュータなどと接続して充電することも可能です。

フル充電の状態から連続18時間の使用が可能です。

## バッテリーの装着と取り外し

本体裏側には、バッテリー挿入口とカメラがあります。バッテリーを外した状態で手前側にバッテリーの挿入口が来るように裏返した本体を置いてください。

バッテリーは、片方の長辺が丸みのある形をしています。この丸みを帯びた端は、本体の辺に沿わせる必要がありますので、丸みのある辺が手前の上側になるように用意してください。バッテリー2つの小さな突起が右側の下辺に来ます。

バッテリーの右側を本体挿入口にはめ込み、左側を押し下げて、バッテリーをはめ込んでください。バッテリーを取り外すには、左側短辺のバッテリロックを左側に向けて引っ張りながら、バッテリーを取り外してください。

## クイックスタートガイド

シックスにはクイックスタートガイド機能が搭載されています。本体の初回起動時に自動的にクイックスタートガイドが開始されます。クイックスタートガイドを終了したい場合はSpace-e(2-4)またはSpace-z(1-3-5-6)を押してください。「クイックスタートガイドを終了してプログラムメニューに移動しますか？はい」と表示します。クイックスタートガイドを終了する場合は「はい」の状態でエンターを押してください。クイックスタートガイドを終了しない場合はスペースを押し、「はい」を「いいえ」に切り替えてからエンターを押してください。

クイックスタートガイドは設定メニューからいつでも表示することが可能です。

## HDMIケーブルを使った映像出力

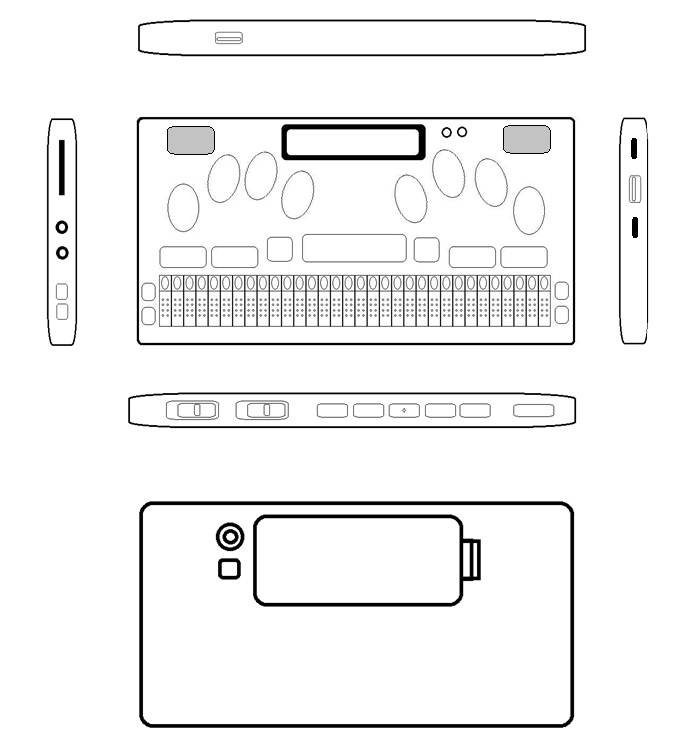
シックスはHDMIケーブルとHDMI-USB変換ケーブル（付属品）を使用してHDMI入力に対応したモニタに映像を出力することが可能です。

モニタに映像を出力することで操作している画面の情報を家族や支援者の方に確認してもらう事が可能です。サポートを受ける際に接続すると便利です。

# シックスの形状と各部の名称

機器の外観やキーを説明します。シックスの点字ディスプレイが手前側になるように正面に機器を置いてください。（以下シックス本体の図）

USB Aポート



**＜背面＞**

**＜左側面＞**

**＜右側面＞**

**＜トップパネル＞**

USB C

ポート

（充電対応）

スピーカー

スピーカー

SDカードスロット

液晶ディスプレイ

６

5

３

２

USB Aポート

マイク端子

４

1

バックスペース

USB Cポート

イヤホン端子

エンター

Alt

Ctrl

F４

F３

F２

F1

スペース

主音量＋

主音量－

点字ディスプレイ

上下スクロール

上下スクロール

メディアモードスイッチ

**＜前面＞**

電源ボタン

戻る 　録音　 停止　 再生　進む

キーロックスイッチ

オーディオボタン

カメラ

バッテリー

フラッシュ

**＜裏面＞**

## トップパネル

シックスの操作パネルは上部に１から６の点字キー、Space、Backspace、Enterの合計9個のパーキンス式点字キーボードを備えています。

Spaceと同じ並びにはCtrlとAlt、4つのファンクションキーが配置されています。左から順にF1・F2・Ctrl・Space・Alt・F3・F4と並びます。

キーボードの下側には、32セルの点字ディスプレイがあります。点字ディスプレイ部分の上部にはセルそれぞれに対応するタッチカーソルキーがあります。文書編集中にはこれらのキーを使ってカーソルを対応する点字セルの文字に移動します。また、タッチカーソルキーはリストやフィールドのグループを選択する際にショートカットキーとしても機能します。例えば、リスト10番目の項目を実行する場合、左から10番目のタッチカーソルキーを押すことで実行する事が可能です。タッチカーソルキーは5番目、10番目、15番目、20番目、25番目、30番目の上部に点が付いていて、何番目かを確認しやすくしています。

点字ディスプレイの両側に、2個ずつ上下に並んだボタンがあります。これは上と下のスクロールキーです。スクロールキーは点字ディスプレイの表示をスクロールするために使用します。オプション設定でスクロールする単位を左右それぞれ変更することが可能です。

トップパネルの最上部中央には液晶ディスプレイ（LCD）があります。液晶ディスプレイにはシックスの出力情報が墨字で表示され、支援者がシックスの出力情報を確認したい際に使用できます。

また、液晶ディスプレイの右側に2つのLEDインジケータがあります。液晶ディスプレイに近い方のLEDは電源オン/オフの状態を示します。右側のLEDは充電状態を示します。

トップパネル最上部の左右隅にステレオスピーカーがあります。

## 右側面

シックスの右側面には、3つのUSB ポートがあります。2つのUSB Cポートがあり、その間に１つのUSB Aポートがあります。

本体背面に最も近い奥側のUSB Cポートは本体の充電や点字ディスプレイとして使用する際にPCへの接続、データの転送、またはWindows用のAndroidコンパニオンソフトウェアを使用したシックスの操作に使用します。

ユニットの前面に最も近いUSBCポートは、ポータブルビデオモニターの接続に使用され、他の互換性のあるUSB Cデバイスに対しホストとして接続することができます。どちらのポートが何の機能のために使用されるかについての混乱をなくすために、点字各ポートの近くに点字を記載しています。電源とデータのポートには点字で「p」と表記し、ビデオとホストのポートには点字で「v」と表記しています。

2つのUSBCポートの間にあるUSB Aポートは、ドライブ、プリンタ、オーディオデバイス、カメラなどを接続するための追加のUSB Aホストポートです。

## 左側面

左側面の本体の前面近くには、主音量を調整するための2つの小さなボタンがあります。音量を下げる際は前面に近いボタンを押し、音量を上げるには背面側のボタンを押します。

音量ボタンから更に背面側には、2つの小さな丸いジャックがあります。前面に近いジャックはステレオヘッドホンジャックで、背面に近い方はステレオマイクまたはライン入力に使用するためのステレオマイクジャックです。ヘッドホンジャックの上部には点字で「h」と表記し、マイクジャックの上部には点字で「m」と表記しています。

左側面の一番背面側には、SDカードスロットがあります。

## 背面

シックスの背面パネルには、ドライブ、キーボード、マウス、カメラ、プリンタ、オーディオ、その他の互換性のあるUSB周辺機器を接続するためのUSB Aホストポートが1つあります。

## 前面

### キーロックスイッチ

前面の左端には、3段階のスライドスイッチがあります。これはキーロックスイッチです。キーロックスイッチを左端にスライドさせると、シックスは「キーロック」と通知します。これは、電源ボタンを含む本体の全てのキーが無効になっていることを意味します。キーロックスイッチを中央にスライドさせると、シックスは「点字キーロック」と表示します。前面パネルのボタンとスイッチ（メディアモードスイッチ、メディアボタン、電源ボタン）を使用できますが、本体トップパネルにあるキーは使用できません。キーロックスイッチが右端にスライドされている場合、シックスは「キーロック解除」と表示します。これは全てのキーが操作可能であることを示します。

### メディアモードスイッチ

キーロックスイッチの右側にはもう一つ3段階のスライドスイッチがあります。これはメディアモードスイッチです。オーディオボタンで操作可能なメディアの種類を決定するスイッチです。

メディアモードスイッチを左端にスライドさせると、シックスは「appモード」と表示します。メディアボタンは現在実行中のアプリケーションの操作に使用できます。メディアモードスイッチを中央にスライドさせると、シックスは「daisyモード」と表示します。daisyモードではメディアボタンをdaisyコンテンツの操作に使用できます。メディアモードスイッチを右端にスライドさせると、シックスは「メディアモード」と表示します。メディアボタンはメディアプレーヤーの操作に使用できます。

### オーディオボタン

メディアモードスイッチの右側には5つのオーディオボタンがあります。左から「戻る」、「録音」、「停止」、「再生/一時停止」、「進む」ボタンです。これらのボタンはメディアモードの設定によって機能が変わります。「停止」ボタンには点が付いており触って区別可能です。

### 電源ボタン

前面右端のボタンは電源ボタンです。電源をオンにするには、ビープ音が鳴り本体が振動するまでボタンを長押ししてください。初回起動時や、バッテリーが空になった状態から起動する場合は通常よりも時間がかかります。

起動後は、電源ボタンを軽く1回押すとスタンバイモードになります。これはスマートホンやタブレットの画面ロック状態と同じです。もう1回電源ボタンを軽く押すとロックを解除してスタンバイモードになる前の状態に戻ります。

電源を完全に切る場合は電源ボタンを長押ししてください。

「電源をオフにしますか？はい」と表示します。電源を切りたい場合はEnterを押してください。キャンセルしたい場合はSpaceを押して「はい」を「いいえ」に切り替えてからEnterを押してください。

## 裏側

本体裏側には、バッテリー挿入口とカメラがあります。バッテリーを外した状態で手前側にバッテリーの挿入口が来るように裏返した本体を置いてください。

バッテリーは、片方の長辺が丸みのある形をしています。この丸みを帯びた端は、本体の辺に沿わせる必要がありますので、丸みのある辺が手前の上側になるように用意してください。バッテリー2つの小さな突起が右側の下辺に来ます。

バッテリーの右側を本体挿入口にはめ込み、左側を押し下げて、バッテリーをはめ込んでください。バッテリーを取り外すには、左側短辺のバッテリロックを左側に向けて引っ張りながら、バッテリーを取り外してください。

13メガピクセルのカメラは、バッテリー差込口のロックが無い側のすぐ隣にあります。 OCRやカメラ映像を用いたアプリケーションを、プレイストアからダウンロードした場合に使用します。文書などをOCR撮影する場合、対象物の30センチほど上にシックスを持って撮影してください。

# シックスの基本操作

シックスの基本操作を説明します。以下の手順に沿って操作方法をお試しください。

(重要)本書ではキー操作を説明するために特別な表記方法を用います。例えば、Space-b(1-2)と記載してある場合、「Space」キーと｢1点｣と｢2点｣のボタンを同時に押すことを意味します。これはこの本書全体で使う重要な表記法です。

## シックスの起動と終了

本体手前側面の一番右側にある電源ボタンを長押しして、電源をオンにしてください。シックスが起動します。

<参考>シックスを初めて起動した場合や設定の初期化を行った場合、シックス内蔵のクイックスタートガイドが起動します。初期設定や使い方に関しての案内を表示します。不要な場合はSpace-e(1-5)を押すとキャンセルしてメインメニューへ進む事ができます。キャンセル後も設定メニューからクイックスタートガイドの再実行が可能です。

起動後は、電源ボタンを軽く1回押すと「画面オフ」と表示しスタンバイモードになります。これはスマートホンやタブレットの画面ロック状態と同じです。もう1回電源ボタンを軽く押すとロックを解除して素早く前の状態に戻ります。電源を完全に切る場合は電源ボタンを長押ししてください。「電源をオフにしますか？はい」と表示します。電源を切りたい場合はEnterを押してください。キャンセルしたい場合はSpaceを押して「はい」を「いいえ」に切り替えてからEnterを押してください。

## ショートカットキーとホットキー、簡単起動コマンド

シックスには簡単に目的の機能を実行するためのキー操作がたくさん用意されています。

これらのキーを知らなくても、リスト項目を1件ずつ上下移動キーで目的の項目を探したり、メニューから機能を選択して操作したりすることは可能です。

しかし、ショートカットやホットキーを覚えるとブレイルセンスの操作が断然素早く行うことができます。

### ショートカットキー

機能がリスト表示されている状態で入力すると目的の機能を実行します。

例：メインメニューのどこにカーソルがあっても、ウェブツールのショートカットキーである「b」と入力するだけでメニューを上下移動で操作しなくともウェブツールを実行できます。

### ホットキー

メニューを使用せずに実行可能な機能を実行することができます。

例：Space-zを入力すると起動中のプログラムを終了します。

### 簡単起動コマンド

メインメニューを開いていない状態でも起動したい機能を実行できるコマンドです。

例：ワードプロセッサを使っている途中でインターネットを使って調べ物をしたい場合、ワードプロセッサの状態でF1-uを押すとワードプロセッサは開いたままでGoogle検索を実行できます。

初期設定では各機能のメニュー項目やリスト項目に、ショートカットキーとホットキーの情報が表示されます。よく使う機能は覚えると便利にシックスを活用できます。

例：ノートパッドの編集メニュー内にある「コピー」の項目は

「コピー（ｃ）enter-c　MI」と表示します。

これはコピーのショートカットキーはｃ、ホットキーはenter-c、これはメニュー項目である。事を示しています。

つまり、文書編集中にメニューを開き、編集メニューになった所でショートカットのcを入力するとコピーが実行されます。

また、メニューを開かなくても文書編集中にホットキーのenter-cを押すだけでもコピーを実行できます。

## シックスの情報出力

電源が入ると起動音が鳴り、「ファイル管理　(ｆ)」と音声で読み上げ、同時に点字ディスプレイにも「ファイル管理　(ｆ)」と表示されます。

シックスは音声と点字で情報を出力することができます。設定メニューのオプション設定により音声読み上げのみ、または点字表示のみで使用することも可能です。

点字と音声の設定は変更が可能です。

オプション設定にて変更するか、以下のショートカットを使って変更できます。

主音量を上げる：本体左側面のボリュームアップボタンまたはBackspace-Space-F4

主音量を下げる：本体左側面のボリュームダウンボタンまたはBackspace-Space-F1

音声のボリュームを上げる：Backspace-F4

音声のボリュームを下げる：Backspace-F1

音声の速度を上げる：Space-F4

音声の速度を下げる：Space-F1

音声のトーンを上げる：Enter-F4

音声のトーンを下げる：Enter-F1

音声オン/オフの切り替え：Backspace-F2

点字オン/オフの切り替え：Backspace-F3

## シックスのキー操作

シックスのトップパネルにある各キーとその主な機能について説明します。キーの配置については「2.シックスの形状と各部の名称」をご参照ください。

6点キー：

パーキンス式の点字キーボードです。

エンターキー：

機能の実行、入力の確定、文書編集中の改行に使用します。

バックスペースキー：

文書編集中の文字の削除に使用します

スペースキー：

マス空けや漢字変換、はい/いいえの切り替えに使用します。

Ctrlキー：

シックスの基本操作では上移動として使用します。AndroidアプリでCtrlとして機能します。

Altキー：

シックスの基本操作では下移動として使用します。AndroidアプリでAltとして機能します。

F1キー：メインメニュー先頭の「ファイル管理」へ移動します。

F2キー：プログラムのメニューを表示します。

F3キー：コントロール間の移動に使用します。

F4キー：キャンセルキーとして使用します。

上下スクロールキー：初期設定では点字表示のスクロールに使用します。オプション設定で移動方式を変更可能です。

タッチカーソルキー：点字セル1マスずつにタッチカーソルキーがあります。タッチカーソルキーを押すことで文書編集中に指定の箇所にカーソルを移動することができます。

これらの機能は各キーの基本的な機能です。使用するアプリケーションよっては異なる動作をする場合もあります。また、複数のキーを組み合わせると別の機能を実行することが可能です。組み合わせキーについては各プログラムのマニュアルやコマンド一覧にて確認することができます。

## マルチタスク

シックスにはたくさんの機能があり、複数の機能を同時に実行することが可能です。これをマルチタスクといいます。ワードプロセッサを使いながら音楽を再生したり、ウェブブラウザで調べものをしたりすることができます。

実行中のプログラムはF2-F3を押すことで切り替える事ができます。F1-F4を押すと起動中のプログラムをリスト表示しそこから使いたい機能を選ぶこともできます。

同時に使用できるプログラムの数に制限はありませんが、いくつもの機能を同時に使うことでシックスの動作に悪影響を及ぼす場合があります。不要な機能はなるべく終了しながら使用する事をお勧めします。

# メインメニュー

シックスを起動するとシックスのメインメニューが表示されます。「ファイル管理」はメインメニューリスト先頭の項目です。出荷時には「ファイル管理」が表示されます。

メインメニューの各項目を確認しましょう。

スペースキーの右隣にあるAltキーが下移動、スペースキーの左隣りにあるCtrlキーが上移動に使用できます。点字ディスプレイの左右にある上下スクロールボタンの下スクロールボタンでも上下の移動はできますが、初期設定では点字スクロール用のボタンに設定されており、操作しても音声が出ません。

また、CtrlやAlt以外にもSpace-1を押すと上移動、Space-4を押すと下移動として機能します。実行したいメニュー項目が表示された状態でエンターを押すとプログラムを実行することができます。

メインメニューは「ファイル管理」から順番に以下の項目があります。

リストの最後まで移動しても先頭には戻りません。順番に上下スクロールを使用する以外にも以下のようなリスト間の移動方法がありますのでお試しください。

リストの先頭へ移動：Space-1-2-3

リストの最後へ移動：Space-4-5-6

メインメニューでF1を押すとファイル管理へ移動します。

また、メニュー項目それぞれのショートカットキーを入力することで、目的の機能を実行することもできます。

加えて、他の機能を使用している際に簡単起動コマンドを入力すると、実行中の機能を終了せずに新たに別の機能を起動することができます。

例えばワードプロセッサの使用中にウェブブラウザの簡単起動コマンドを実行するとワードプロセッサと並行してウェブブラウザを起動することができます。

各機能の詳細はユーザマニュアルをご確認ください。

## ファイル管理

保存されているデータの管理を行います。リストからデータのコピーや貼り付け、ファイルの実行など行うことができます。

ショートカットキー：f(1-2-4)

簡単起動コマンド：F1-f(1-2-4)

## ワードプロセッサ

docx形式の文書データ作成とdoc/docxデータの編集を行います。ppt、pptxデータの閲覧も可能です。

ショートカットキー：w(2-4-5-6)

簡単起動コマンド：F1-w(2-4-5-6)

## ノートパッド

簡易的なメモ帳です。点字データ、墨字データの編集と閲覧が可能です。

ショートカットキー：n(1-3-4-5)

簡単起動コマンド:F1-n(1-3-4-5)

## 電子メール

メールのアカウントを登録して、インターネットに接続できる環境であれば電子メールの送受信を行うことができます。

ショートカットキー：e(1-5)

簡単起動コマンド：F1-e(1-5)

## メディア

オーディオに関する機能を使用します。メディアを実行するとメディアメニューが開き、以下の機能を選択することができます。

ショートカット：m(1-3-4)

### メディアプレーヤー

オーディオデータの再生、音声録音機能。

メディアプレーヤーからURLを指定する事でWebラジオの再生も可能です。NHKのインターネットラジオに関しては「らじるらじる」機能が搭載されており、ネットワークに接続されていれば簡単に聴くことができます。

簡単起動コマンド：F1-m(1-3-4)

### ラジオ

FMラジオを使用できます。

簡単起動コマンド：F1-r(1-2-3-5)

### ポッドキャスト

ポッドキャストを使用できます。

## 読書

読書に関する機能を使用します。読書を実行すると読書メニューが開き、以下の機能を選択することができます。

### DAISYプレーヤー

DAISY図書の再生機能。

簡単起動コマンド：F1-d(1-4-5)

### 文書リーダ

文書リーダは文書ファイルを、読み取り専用の状態で開いて内容を確認するための機能です。

### DAISYオンライン

Daisyオンライン機能を実行できます。DAISY図書の検索とダウンロードが可能です。点字図書のダウンロードには対応していません。

簡単起動コマンド：F1-z(1-3-5-6)

## オーガナイザ

各種の情報管理に関する機能を使用します。オーガナイザを実行するとオーガナイザメニューが開き、以下の機能を選択することができます。

ショートカットキー：o(1-3-5)

### アドレス帳

アドレス帳を利用できます。登録されたデータは電子メールのアドレス帳と共有されます。

簡単起動コマンド：F1-a(1)

### 予定帳

スケジュールを管理できます。

簡単起動コマンド：F1-s(2-3-4)

### データベース管理

データベース管理を行います。アドレス帳と仕組みは似ていますが、自由にデータベースの管理を行うことができます。

簡単起動コマンド：F3-d（1-4-5）

## ウェブツール

インターネット関連の機能を使用します。ウェブツールを実行するとウェブツールメニューが開き、以下の機能を選択することができます。

ショートカットキー：b(1-2)

### ウェブブラウザ

インターネットに接続することでウェブページの閲覧を行えます。

簡単起動コマンド：F1-b(1-2)

### Google検索

Googleの検索サービスを使ってWebページの検索が可能です。

簡単起動コマンド：F1-u(1-3-6)

### ウィキ検索

ウィキペディアの検索が可能です。

## アクセサリ

実行するとアクセサリメニューが開き、以下の機能を選択することができます。

ショートカットキー：x(1-3-4-6)

### エクセルビューア

Microsoft Excelの表を閲覧する機能です。表の編集や計算式の確認はできません。

簡単起動コマンド：F1-x(1-3-4-6)

### センス辞書

英和と和英の辞書機能を使用できます。

簡単起動コマンド：Backspace-Enter-d(1-4-5)

### カラーリーダー

内蔵カメラを使って撮影した対象の色を表示することができます。

簡単起動コマンド：F3-r(1-2-3-5))

## ユーティリティ

各種ユーティリティ機能を実行できます。

電卓、現在時刻、電子コンパス、アラーム、ストップウォッチ、スクリーンリーダーのターミナル（パソコンのピンディスプレイとして使用する機能）などがあります。

ショートカット：u(1-3-6)

## 設定

インターネット設定やオプション設定など各種設定を行います。

特にオプション設定ではシックスの操作に関する様々な設定を変更できます。オプション設定では各設定項目でスペースを押すことで設定内容を変更します。設定変更後エンターを押すと設定を保存します。詳しくは取扱説明書「オプション設定」をご参照ください。

ショートカット：s(2-3-4)

オプション設定の簡単コマンド：Space-o(1-3-5)

## ヘルプ

ユーザマニュアルの内容を確認することが可能です。不明な点があった場合にご活用ください。

ショートカット：h（1-2-5）

## プレイストア

GooglePlayを使ってAndroidアプリのダウンロードが可能です。使用するにはGoogleのアカウントが必要です。

**重要：**シックスはプレイストアからインストールする事ができるAndroidアプリ全てが正常に動作する事を保証していません。シックス向けに開発されていないアプリのアクセシビリティや使いやすさを保証することはできません。シックスではモバイルスクリーンリーダーでアプリを使用するため、一般的なAndroid端末でアプリを使用する場合に比べて操作が困難な場合があります。

## すべてのアプリケーション

インストールしたAndroidアプリはメインメニューの「すべてのアプリケーション」に登録されます。アプリケーションのリストからアプリを実行したりアンインストールしたりする事が可能です。

## ブレイルセンス情報

シックスの機器情報を確認できます。

# よく使う機能や設定

## ファイル管理を使ったデータの管理

ファイル管理はシックスのメインメニューの先頭にある機能です。シックスに保存したデータの管理を行います。

ファイル管理でエンターを押して実行してください。

フラッシュディスクと表示されます。これはシックスに内蔵されているストレージ（データの保存先）です。SDカードやUSBメモリを接続しているとフラッシュディスクと同じリストに表示されます。

フラッシュディスクと表示されているところでエンターを押してください。フラッシュディスクに保存されているフォルダとファイルがリストになって表示されます。さらにフラッシュディスク内にあるフォルダの中を確認したい場合はそのフォルダが表示された状態でエンターを押してください。一つ前のフォルダに戻る場合はバックスペースを押してください。

エンターとバックスペースを使ってフォルダの中へ移動したりフォルダの外へ戻ったりすることができます。

ファイル管理からデータを指定してプログラムを実行することも可能です。

例えば、文書データや音楽データ、DAISYデータの保存されたSDカードをシックスに挿入した状態で、使用したいデータを指定してエンターを押すと指定したデータに対応したプログラムを起動してデータを読み込みます。DAISYなどフォルダごとデータを指定する場合はフォルダ名を表示した状態でスペースを押してください。フォルダごとデータを選択することができます。

シックスのファイル管理はツリービューの構造になっています。ここでの操作方法はデータの保存先を指定する場合などに使用します。

## インターネット接続設定

シックスはインターネットに接続していない環境でも多くの機能を活用することができますが、インターネットに接続できる環境で使用することで機能を最大限に活用することができます。シックスはインターネットに接続できる環境でお使いいただくことをお勧めします。

### 無線LANの設定

シックスにて無線LAN接続を行う場合は以下の手順で設定を行ってください。

1. メインメニューから「設定」を実行してください。メインメニューのリストで下スクロールキーを何度か押して「設定」と表示する箇所へ移動し、エンターを押すと実行します。
2. 設定メニューから「インターネット設定」を実行してください。設定メニューのリストで下スクロールキーを押して「インターネット設定」と表示する箇所へ移動し、エンターを押すと実行します。
3. インターネット設定のリストが表示されるので下スクロールを押して「無線LAN」と表示したところでエンターを押してください。
4. 周辺の無線LANを検索して使用可能なアクセスポイントを表示します。
5. 接続したいアクセスポイントを選択してエンターを押してください。
6. パスワードが設定されている場合はネットワークキーの入力を求められます。キーを入力してください。
7. 正しいキーが入力されればインターネットへの接続が完了します。

## 電子メールの起動と設定

電子メールを使用するには、電子メールアカウントを用意する必要があります。

メールアカウントは、POP3（Post Office Protocol 3）またはIMAP（Internet Message Access Protocol）と、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）をサポートする必要があります。

電子メールを使用する前に、シックスがインターネットにアクセスできるように設定する必要があります。

### 電子メールの実行

電子メールを実行するには、プログラムメニューで上下移動して電子メールに移動しエンターを押すか、プログラムメニューでショートカットキーのeを押します。簡単起動コマンドはF1-eです。

初めて電子メールを起動すると、シックスは「ツールメニューのアカウントマネージャーでアカウントを設定してください。」と表示し、アカウントマネージャーを自動的に開きます。

### メールアカウント設定

アカウントマネージャーを実行するとアカウントマネージャーダイアログが開き「アカウント名: リストがありません」と表示されます。

アカウントマネージャーダイアログには、アカウントの一覧リスト、情報ボタン、追加ボタン、修正ボタン、削除ボタン、閉じるボタンがあります。これらのコントロールはF3を押して切り替える事ができます。

電子メールアカウントの追加は、以下の手順で行います。

1. アカウントマネージャーを起動し、F3で追加ボタンに移動してエンターを押します。
2. ダイアログが開き使用するメールサーバーの選択を行います。スペースを押すたびに「POP3」、「IMAP」、「EXCHANGE」が切り替わります。設定するメールサーバーを選択してF3を押してください。
3. 続いてサーバの種類が表示されます。これはコンボボックスで、手動でアカウントを設定するか、GoogleかOutlookの情報を自動的に入力することができます。上下移動でサーバの種類を選択します。使用したいサーバが一覧にない場合は、手動を選択してください。F3を押してアカウントの設定リストに移動します。

＜参考＞F3でコントロール間を移動した場合、Space-F3を押すと前の項目に戻ります。

1. アカウント名：と表示されます。電子メールアカウントを識別する名前を入力します（例：「Gmail」あるいは「仕事用メール」など）。
2. F3を押して、ユーザ名に移動します。メールを送った際、相手に表示したい名前をエディットボックスに入力します。
3. F3を押して、電子メールアドレスに移動します。エディットボックスに電子メールアドレスを入力します（コンピュータ点字で入力します）。（例：sense@himsintl.comなど。）
4. F3を押してログオンユーザ名に移動します。エディットボックスにログオンユーザ名を入力します（コンピュータ点字で入力します）。（例：Sense、あるいはsense@himsintl.comなど）。

＜参考＞ 一部のプロバイダでは、電子メールアドレス全体をユーザ名として使用する必要がありますが、アドレスのアットマークの前の部分のみを使用するプロバイダもあります。電子メールプロバイダが設定しているユーザ名を正しく入力してください。

1. F3を押してパスワードに移動します。エディットボックスにパスワードを入力します（コンピュータ点字で入力します）。

＜参考＞ オプション設定でパスワード表示をオンに設定しない場合には入力したパスワードを確認できないので、慎重に入力してください。

1. F3を押して受信サーバ？に移動します。受信サーバの種類としてIMAPを選択した場合は、受信IMAPサーバ？が表示されます。受信サーバの種類としてPOP3を選択した場合は、受信POP3サーバが表示されます。エディットボックスに受信サーバドレスを入力します（コンピュータ点字で入力します）。（例： imap.himsintl.com、またはpop.himsintl.comなど）。ご使用の受信サーバドレスについては、アカウントのプロバイダに確認してください。
2. F3を押して、送信サーバに移動します。エディットボックスにSMTPサーバのアドレスを入力します（コンピュータ点字で入力します）。SMTPサーバの正確なアドレスについては、アカウントのプロバイダに確認してください。
3. F3を押すと詳細設定ボタンに移動します。詳細設定ではポート番号や暗号化の設定を行います。必要な場合はエンターを押して詳細設定へ進んでください。詳細設定については次節で説明します。
4. F3を押すと「確認」ボタンに移動します。設定を保存して終了する場合はEnterを押してください。設定を取り消す場合はもう一度F3を押して「取消」ボタンに切り替えてエンターを押してください。
5. 設定を完了してダイアログを閉じると、追加したアカウント名を含むアカウント名の一覧を表示します(例: アカウント名: Polaris 1/1)。
6. アカウントの追加を終了する場合は、Space-zを押してInboxに戻ります。

＜参考＞ 多くの電子メールサービスプロバイダは、異なるポート番号を持つ安全なサーバを使用します。サービスプロバイダで暗号化を使用する必要がある場合、以下で説明する詳細設定ダイアログでこれらのオプションを設定する必要があります。

＜参考＞電子メールアカウントを設定するためのいくつかの項目では、コンピュータ点字を使用する必要があります。ID、パスワード、およびアドレスを入力するには、次章の点字記号のリストを確認してください。

### メールアカウントの詳細設定

署名を作成したり、詳細設定ダイアログで詳細なオプションを設定したりすることができます。

1. 前に記述した手順でアカウントマネージャーを起動します。
2. 新しいアカウントを作成中の場合には、F3で登録ボタンに移動してエンターを押します。作成済みのアカウントに詳細設定を行う場合には、F3で修正ボタンに移動してエンターを押します。
3. アカウントの設定に必要な項目を全て入力したら、F3を押して詳細設定に移動してエンターを押します。
4. 「secure POP3（POP3-SSL）?」または「secure IMAP（IMAP-SSL）?」と表示されます。POP3またはIMAPサーバがSSLを使用している場合は、Spaceを押してラジオボタンの「はい」を選択してください。
5. F3を押してPOP3（またはIMAP）ポート番号に移動します。POP3は既定で110に設定されており、IMAPは既定で143に設定されています。プロバイダで異なるポート番号を設定する必要がある場合は、エディットボックスにそのPOP3またはIMAPポート番号を入力します。

＜参考＞上記のSSLを使用にすると、SSLを使用するほとんどのサーバでPOP3のポート番号は自動的に995に変更され、IMAPのポート番号は993に変更されます。

1. F3を押してSMTP暗号化方式に移動します。設定値は、なし、SSL、TLSです。送信SMTPサーバがSSLまたはTLSを使用している場合は、スペースを押して値を変更します。
2. F3を押してSMTPポート番号に移動します。既定で25に設定されています。暗号化の種類にSSLを選択した場合、SSLを使用するSMTPサーバで最も一般的に使用されるように、既定のポート番号は465に設定されます。TLSを選択した場合、既定のSMTPポート番号は587に設定されます。プロバイダで異なるSMTPポート番号を使用する場合は、エディットボックスに異なる値を入力します。
3. F3を押してSMTPユーザ名に移動します。インターネットアカウントプロバイダで別のSMTPユーザ名を使用する必要がある場合は、このエディットボックスに入力します。
4. F3を押してSMTPパスワードに移動します。上記のIDに対応するパスワードを入力します（コンピュータ点字で入力します）。SMTPユーザ名とパスワードが受信のユーザ名とパスワードと同じ場合には、これらの項目は空白のままにします。
5. F3を押して既定の送信アカウントとするに移動します。スペースを押して「はい」または「いいえ」を切り替えてください。

※1つ目のアカウント設定時にはこの項目は表示されません。

1. F3を押して

（POP3の場合）サーバにメールのコピーを残しますか？に移動します。スペースを押して「はい」または「いいえ」を切り替えてください。

（IMAPの場合）Sentbox（送信ボックス）にメールを保存するに移動します。スペースを押して「はい」または「いいえ」を切り替えてください。

1. 下移動を押して

（POP3の場合）Sentbox（送信ボックス）にメールを保存するに移動します。スペースを押して「はい」または「いいえ」を切り替えてください。

（IMAPの場合）「署名を追加」へ移動します。スペースを押して、送信メールに自動的に署名を追加する場合は「はい」署名を追加しない場合は「いいえ」を選択してください。→14）へ続く

1. （POP３の場合のみ）下移動を押して「署名を追加」へ移動します。スペースを押して、送信メールに自動的に署名を追加する場合は「はい」署名を追加しない場合は「いいえ」を選択してください。
2. F3を押すと 署名：の複数エディットボックスに移動します。電子メールに添付する署名の情報を入力してください。
3. F3で確認ボタンに移動してエンターを押すと、詳細設定を完了し詳細設定を保存します。
4. もう一度F3を押すとアカウント設定の確認ボタンに移動します。エンターを押して、アカウント設定を保存します。

# コンピュータ点字入力と記号

記号には「無変換（NABCC）」と「日本語情報処理」の入力方式があります。

以下点字リストです。メールやインターネットの設定に必要な場合があります。

入力方式の切替はオプション設定の「コンピュータ点字」にて行います。

また、ワードプロセッサ等で記号を入力したい場合はオプション設定の「英語点字表示」で設定を変更してください。「1級」、「2級」、「日本語情報処理」、「無変換」から設定できます。「2級」に設定すると一部の記号が入力できません。

※\は画面表示上＼（バックスラッシュ）として表示されます。

## 情報処理点字/1級の入力

数字入力時は数符を使用します。

! 2-3-5  
" 3-5-6  
# 1-4-6  
$ 1-4-5-6  
% 1-2-4-5-6  
& 1-2-3-4-6  
' 3  
( 1-2-3-5-6  
) 2-3-4-5-6  
\* 1-6  
+ 3-4-6  
, 2  
- 3-6  
. 2-5-6  
/ 3-4  
: 5、2  
; 2-3  
< 3-5  
= 1-2-3-4-5-6  
> 2-6  
? 2-3-6  
@ 2-4-6  
[ 1-2-6  
\ 1-2-4-6  
] 3-4-5  
\_ 4-5-6  
| 1-2-5-6  
~ 4-5

## 無変換（NABCC）の入力

小文字の英字は通常の英語１級点字と同じです。ただし英字符は付けません。大文字の英字はSpace-uで大文字モードにしてから、小文字と同じ英語１級点字を入力します。

大文字を続けて入力するにはSpace-uを2度連続して入力します。小文字モードにもどすには再びSpace-uを入力します。

数字は下がり数字で入力します。数符は付けません。

その他の記号は下記のように入力します。  
! 2-3-4-6  
" 5  
# 3-4-5-6  
$ 1-2-4-6  
% 1-4-6  
& 1-2-3-4-6  
' 3  
( 1-2-3-5-6  
) 2-3-4-5-6  
\* 1-6  
+ 3-4-6  
, 6  
- 3-6  
. 4-6  
/ 3-4  
: 1-5-6  
; 5-6  
< 1-2-6  
= 1-2-3-4-5-6  
> 3-4-5  
? 1-4-5-6  
@ Space-1-3-6 4  
[ Space-1-3-6 2-4-6  
\ Space-1-3-6 1-2-5-6  
] Space-1-3-6 1-2-4-5-6  
^ Space-1-3-6 4-5  
\_ Space-1-3-6 4-5-6  
` 4  
{ 2-4-6  
| 1-2-5-6  
} 1-2-4-5-6  
~ 4-5

# 基本的なコマンド一覧

シックスで使用する基本的なコマンドキーの一覧です。各アプリケーションの各機能にはそれぞれショートカットキーやホットキーが設定されています。詳しくは取扱説明書または本体ヘルプの「16章 コマンドリスト」をご参照ください。

各機能のコマンドはF2メニューの項目名の後にも表示されます。

また、各機能の実行中にSpace-hを押すことで実行中のアプリケーションで使用可能なコマンドリストを表示することができます。よく使う機能のコマンドを覚えるとシックスの操作を素早く行う事ができるようになります。

## 共通コマンドキー

メインメニューを開く：F1

起動中のタスクリストを開く：F1-F4

次の起動中のタスクに切り替え：F2-F3

前の起動中のタスクに切り替え：Space-F2-F3

プログラム詳細メニューを開く：Space-mまたはF2

終了：Space-z

エスケープ： Space-eまたはF4

ダイアログ内で次の操作に移動：F3

ダイアログ内で前の操作に移動：Space-F3

前の文字に移動： Space-3

次の文字に移動： Space-6

前の行/項目に移動：Space-1

次の行/項目に移動： Space-4

行/項目の始まりに移動：Space-1-3

行/項目の終わりに移動：Space-4-6

文書の最初へ移動または最初の項目へ移動: Space-1-2-3

文書の最後へ移動または最後の項目へ移動: Space-4-5-6

前のページまたは前の32項目単位の最初の項目へ移動:

Space-1-2-6 または F1-F2

次のページまたは次の32項目単位の最初の項目へ移動:

Space-3-4-5 または F3-F4

左スクロール: 上スクロールボタン

右スクロール: 下スクロールボタン

カーソルを特定のセルやリスト項目へ移動: 対応する順番のタッチカーソルキー

検索: Space-f

大文字へ切り替え（無変換入力のみ）: Space-u

現在の項目を再読み上げ: Space-r

ウェブページを開く: Space-w

現在時刻を読み上げ: Space-t

バッテリー状態確認: Space-1-6

オプション設定を開く: Space-o

オンラインヘルプ: Space-h

バージョンの確認: メインメニューでSpace-v

ネットワーク状態確認: メインメニューでSpace-n

フラッシュディスクの空き容量の確認: メインメニューでSpace-i

LCDディスプレイのオン/オフ: メインメニューでEnter-4-5-6

音声のオン/オフ: Backspace-F2

点字のオン/オフ: Backspace-F3

音声ボリュームを上げる: Backspace-F4

音声ボリュームを下げる: Backspace-F1

音声速度を上げる: Space-F4

音声速度を下げる: Space-F1

音声トーンを上げる: Enter-F4

音声トーンを下げる: Enter-F1

主音量を上げる: Backspace-Space-F4

主音量を下げる: Backspace-Space-F1

片手モードのオン/オフ: Backspace-1-2-3

Bluetoothのオン/オフ: Backspace-3-4-5-6

無線LANのオン/オフ: Backspace-1-4-5-6

入力モードのオン/オフ: Backspace-Space-Enter-m

スクロールボイスのオン/オフ：F3-上スクロールボタン

８点入力モードのオン/オフ: F1-下スクロールボタン

点字カーソルのオン/オフ: F4-上スクロールボタン

コントロール情報の切り替え: F2-下スクロールボタン

USBとSDカードのマウント解除: Backspace-Enter-u

## 簡単起動コマンド

以下の様に、F1とそれぞれのアルファベットを同時に押すことで、それに対応するアプリケーションをすぐに実行することができます。

アドレス帳: F1-a

ウェブブラウザ: F1-b

DAISYプレーヤー: F1-d

電子メール: F1-e

ファイル管理: F1-f

Google検索:F1-g

ヘルプ: F1-h

Wikiサーチ：F1-i

メディアプレーヤー:F1-m

ノートパッド:F1-n

２つ目のノートパッドを実行:F1-Backspace-n

文書リーダ:F1-o

ポッドキャスト:F1-p

データベース管理:F1-q

FMラジオ: F1-r

スケジュールマネージャー: F1-s

ワードプロセッサ: F1-w

エクセルビューア: F1-x

DAISYオンライン:F1-z

以下の様に、F3とそれぞれのアルファベットを同時に押すことで、それに対応するアプリケーションをすぐに実行することができます。

アラーム: F3-a

Bluetooth接続:F3-b

電卓: F3-c

データベース管理：F1-q

フォーマット: F3-f

インターネット設定: F3-i

バックアップ/復旧オプション: F3-k

世界時計:F3-l

パスワードの保護: F3-n

フラッシュディスクのバックアップ/復旧オプション:F3-p

カラーリーダー:F3-r

スクリーンリーダーのターミナル: F3-s

時計設定: F3-t

ブレイセンスアップグレード: F3-u

ストップウォッチ: F3-w

その他の簡単起動コマンド

日付と時刻の表示:Space-t

ネットワーク状態の確認:Space-n

充電状態の確認:Space-1-6

コンパス方位の表示: Enter-5-6

デバイス名の変更: Backspace-Enter-e

スリープタイマーを開く: Space-j

オプション設定を開く:Space-o

センス辞書を開く:Backspace―Enter-d

メニュー管理を開く:Enter-h

URLを開く：Enter-w

ウェブサーチを実行する：Ctrl-Alt-w

フォーカス上の単語を検索する：Backspace-Space-Enter-w

オーディオミュート:F4-a

マイクミュート:F4-m

## モバイルスクリーンリーダーのコマンド

モバイルスクリーンリーダーはAndroidアプリやプレイストアを使用する際のコマンドです。通常のブレイルセンスの操作と異なる場合がありますのでご注意ください。

また、Androidアプリはシックスミニにて、必ず正常に動作する保証はありません。

フォーカスの移動

次の項目へ移動: Space-4-5 または F3

前の項目へ移動: Space-1-2 または Space-F3

先頭へ移動: Space-1-2-3

末尾へ移動: Space-4-5-6

ひとつ下の画面へスクロール: Space-3-4-5

ひとつ上の画面へスクロール: Space-1-2-6

現在の項目を実行: Enter または タッチカーソルキー

エディットボックス等への文字入力モードへの切り替え：Enterまたはタッチカーソルキーを2回押す（アプリによって異なる場合あり）

戻るボタン: Space-e または F4

特定のオブジェクトへ移動: オブジェクトの最初の文字を入力

ホーム画面へ移動: F1

通知画面を開く: Space-1-2-3-4-5-6

通知内容を実行: Enter

通知の削除: Space-d

ホームをブレイルセンスランチャーにリセットする: F2-F3-1-2-3-4-5-6-7-8

全てのアプリを終了：Space-Enter-d

エディットボックスを有効にする：Enter

スライダーの値を増やす：Backspace-Space-4

スライダーの値を減らす：Backspace-Space-１

ダブルタップ：Space-Enter

ダブルタップ＆ホールド：Backspace-Space-Enter

ホールド開始と終了：Backspace-Space-2

シックスランチャーへリセット: F2-F3-1-2-3-4-5-6-7-8

オブジェクトナビゲーション方法の変更：Backspace-Enter-h

Androidアプリ使用中のメディアボタン機能

※メディア切り替えキーをAPPに設定してください。

メインメニューを開く: 停止ボタン

起動中のアプリ一覧: 再生ボタン

戻る: 録音ボタン

前の項目へ移動: 前のトラックボタン

次の項目へ移動:次のトラックボタン

スクリーンリーダーのオン/オフ: 停止ボタンと次のトラックボタン

Googleアシスタントの呼び出し: 録音ボタンと再生ボタン同時押し

# リセット

シックスの動作が不安定になった場合や、動作しなくなった場合にリセット操作を行う事で正常な状態に戻る場合があります。シックスには物理的なリセットボタンが無いため、以下の方法でリセットを実行します。

ソフトウェアリセット：1-2-3-4-5-6-F2-F3

または、本体のバッテリーを外して数秒間放置してから再度バッテリーを取り付けることでリセットと同様の効果を得られます。

設定の初期化：

バッテリーを取り外しても問題が改善しない場合お試しください。メインメニューの「設定」の「設定の初期化」を実行するか、電源オフの状態で、オーディオボタンの「進む」を押しながら電源ボタンを押してください。シックスが振動しながら起動すれば成功です。

この設定を実行すると、変更した各種の設定が初期化され、インターネット設定などは削除されますので十分ご注意ください。

# シックスの活用について

この簡単ガイドではシックスの基本的な操作方法と機能について説明しました。それぞれの機能について詳しい使い方を調べる場合は、シックスのヘルプやユーザガイドをご参照ください。

はじめから全ての機能を使いこなすのは大変です。まずは興味のある機能を中心にシックスの操作を習得してください。

シックスをご利用の上でご不明な点がございましたら、以下のセンスサポート窓口までご連絡ください。なお、お電話の受付時間は平日朝10時から12時、13時から16時までとなっております。よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

有限会社エクストラ

〒424-0886

静岡県静岡市清水区草薙１丁目19-11

＜センスシリーズ使い方サポート窓口＞

電話：054-368-6897

＜センスシリーズ故障・修理対応窓口＞

電話：054-368-6887

Eメール（共通）：sense-support@extra.co.jp